

議 事 概 要 書

令和 6 年度第 1 回玉野市史編さん委員会 会議録

開 催 日 時	令和 6 年 7 月 30 日 (火) 14:00~15:40
開 催 場 所	玉野市役所 水道庁舎 1 階 大会議室
出 席 委 員	市史編さん委員会 委員長他 6 名 (欠席委員 1 名)
傍 聴 の 可 否 (非公開の理由)	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長挨拶 ・委員紹介 (交代者) <p>2 議題</p> <p>(1) <u>目次構成 (案)</u> (事務局説明)</p> <p>(事務局) 「玉野おどり」は観光イベント、「玉野まつり」は民俗文化の項目としているが、観光的な要素か地域的な行事になるのか、また、色々なイベントがあると思うがどれを記載するか商工観光課と調整したい。</p> <p>(委 員) 「目次構成 (案)」については、これまでの意見を反映しているので、今回のものを基本とし、今後、原稿の内容に応じて、必要であれば訂正、加除を協議したい。</p> <p>(委 員) 港フェスティバルの説明は当然載せるべきと思う。</p> <p>(委 員) 市史の掲載の対象は令和 2 年度までと思うが、第 3 編第 6 章第 1 節の学校規模の適正については、今年度からの動きのことを想定しているのか。</p> <p>(事務局) 本文は 1970 年 (昭和 45 年度) から 2020 年 (令和 2 年度) の 50 年間を予定している。年表は最新まで載せることが多い。令和 2 年度までなので、学校規模の適正については、今年度からの動きは大きくは載せない。</p> <p>(委 員) 少子化で、現在小中学校の統廃合の協議が進んでいる中で、何も触れないのはどうかと思う。出来るだけ掲載した方がよい。</p> <p>(事務局) 原則は令和 2 年度まで区切り、重要な事項については令和 5 年度や令和 6 年度まで掲載することは構わない。例外的に載せる重要な事項は早い段階で示してもらいたい。</p> <p>(委 員) 学校規模の適正について、現在協議が行われているものと、過去に玉原小学校を作ったことも含まれると思う。令和になって学校再編を議論されたことを記録として残すことはした方が良いと思う。</p> <p>第 3 編第 6 章第 2 節、文化の細目次について、原稿の内容によつては整理すればよいと思う。</p> <p>(事務局) 明治以降の学校統廃合は記録がある。教育委員会では残しているが、市史の中にも学校再編の記録を掲載して欲しいと教育総務課からリクエストがある。</p> <p>その他、目次案について、第 3 編第 1 章第 2 節に「ビッグプロジ</p>

	<p>エクトの成否」、「緊縮財政とその功罪」とあるが、成否や功罪は削除したい。</p> <p>第3編第3章第2節に連絡船が入っていない。宇野高松航路には連絡船も入る。航路と廃止は別立の方が見てわかると思う。</p> <p>第3編第4章第3節について、2玉野医療センターと3民間医療機関の書き方は、公立として玉野市民病院、民間として玉野三井病院、玉野中央病院があり、玉野市民病院と玉野三井病院が合併して玉野医療センターとなる書き方になると思う。新型コロナウイルス対策について、医療でもあるし、玉野市では予防に関しては保健部門が動いたので、どちらの項目に入れた方がよいのか再考。</p> <p>第3編第5章第4節のその他の工業から塩業は削除したが、第5章の産業・経済の中に項目として立てるのか、どこかのカテゴリーに入れておくべきと考える。</p> <p>第3編第6章第1節の「学校規模の適正」は「小中学校の再編」とし1総論に入れたら良いと思う。1総論にある教育サポートセンターは2学校教育へ、青少年健全育成から地域学校協働本部事業は3社会教育課のカテゴリーになる。保護司は国の機関であるので市の中に入れるのは難しい。市民センターでは行政サービスとして住民票等の発行や税金の収納事務等を行っていて一旦廃止になったが住民票等の発行を復活した経緯があり全国的に珍しい制度であるので、どこか入れておく必要ある。</p> <p>(事務局) 目次構成案について、修正箇所を示していただければ修正する。</p> <p>(委員) 宇高国道フェリーは廃止ではなく休止と言われていたので、確認してもらいたい。</p> <p>(事務局) 連絡船は廃止、宇高国道フェリーは休止で施設も残っている。日通フェリーもあるので確認する。</p> <p>(委員) 三井造船、日比製錬、ナイカイ塩業、北興化学など市内の主要な企業についての記述はどうなっているのか。</p> <p>(事務局) 第3編第5章第4節の工業の項目があるので、この中で、造船や繊維工業などがある。塩業については第5章中に入れるべきと思う。</p> <p>(委員) 市内の歴史ある企業については記述があった方がよいと思う。宇野にある玉仙岩については明治維新当時の県下唯一の納税者が別荘として石碑を建てたものであるが、個人的なことは載らないのか。</p> <p>(事務局) 昭和45発刊の市史でも個人のことには触れておらず、続編で人物を紹介した。個人の事は線引きが難しいので本編は出来事を述べる方がいいと考えている。他市の例では、名誉市民になった方は市史でも紹介したりしている。そのような明確な基準があった方がよい。</p> <p>(委員) 塩業は玉野市にともって特別な産業であったので、項目を独立して書いてもよいと思う。</p>
	<p>(2) 第3編第1章(初稿)、図表案 (事務局説明)</p> <p>(委員) 市庁舎の建替えについて、既に令和8年の新しい庁舎建替えに向け動いているので、現状に合った内容にした方がよいと</p>

	思う。
(事務局)	市役所の写真を載せることになっているが、令和8年の市史発刊と市庁舎完成が微妙なタイミングである。市としては新しい庁舎の写真を載せたい。 新しい庁舎については、チラシで紹介する方法もある。その他に掲載する写真については色々な意見を出してもらいたい。
(委 員)	何年ぶりの改訂になるのか。
(事務局)	今の玉野市史が昭和45年発行で約55年ぶりとなる。既刊の市史は昭和40年頃までの内容であり、その続きを制作するものである。
(委 員)	予算はいくらで、何部発刊する予定なのか。またどこに配布するのか。無駄にならないように有効に活用してもらいたい。
(事務局)	1,000部発行予定で、予算は約2400万円である。配布は友好都市や図書館、教育機関と考えている。また、デジタルデータをホームページに掲載することも考えている。
(委 員)	市役所機構図について、令和6年度からこどもみらい課が設置されており、玉野市でも子ども達のために社会情勢に即した課を作ったことが分かるようにしたらどうか。検討してもらいたい。
(事務局)	令和2年度以降の載せるべき事項については、関係部署と協議し、編さん委員会の中でお示しする。また、行政組織については課以上について記載している。
(委 員)	組織図については昭和45年と最新のもの他に、例えば大きく変化があった1988年の組織図を載せてはどうか。
(事務局)	今のご意見のように変化のあった組織図を載せることは良いと思う。ただページ数に制限があるため掲載する図表は絞る必要がある。
(委 員)	議会の項目は10ページある。図表等は章末にまとめるとか工夫してページ数を調整し、もう少し構成を考えた方がよいのでは。
(事務局)	市民の代表としての議会の役割は大きいので、しっかり掲載することはおかしくないと考えている。
(委 員)	図表をまとめる方法もある。図表や細目次案について編さん委員会で議論して事務局に伝えた方がよいと思う。各員に修正案等を投げかけていただき、それをまとめたものを(株)事務局に返す方がスピード感があつてよいと思う。 また、選挙の項目で「259票差」がわずかなのか大激戦なのか価値観で違うと思うので淡々と結果を記述した方がよいと思う。
(委 員)	選挙の項目で、候補者名はひらがなで表記しているが、漢字で表記した方がよいのではないか。
(事務局)	事務局で判断したい。
(委 員)	歴代市長の名前のどこで紹介するのか。
(事務局)	歴代三役の項目で、図表を添付することとしている。
(委 員)	議会の説明は10ページあるが、中身ある内容なのか。意味あることであれば載せれば良いと思う。財政の表とか本当に必要なのかと思う。
(事務局)	財政の数字については、どこの事例でも載せている。議会に関しては意見書等はすべて載せて、条例等は主なものを記載することとしている。
(委 員)	読み物としてはしんどいが、5年分くらいが1ページになつ

		ていると思うので、1年のことが数行で上手くまとまっていると思う。気になる年度のことを調べるにはよいと思う。意見書等はその時々の市議会としてどういう事柄に关心があったのか分かり、資料として有効と考える。
(事務局)		玉野市の歴史を調べる時に有効と思う。
(委 員)		自治体によっては議会史を別に作成しているので、議会については重要視されており、玉野市で議会史が無ければ、今記載している内容はあった方がよいと考える。
(事務局)		市議会議員の当選者の一覧は載せないのか。
(委 員)		巻末資料として一覧を載せることは考えられる。自治体によって載せる内容はそれぞれなので、編さん委員の皆さんで判断してもらいたい。
(事務局)		ふるさと納税の返礼品の一覧とか載せてはどうか。返礼品を提供している業者さんなどは喜ぶと思う。
(委 員)		ふるさとの納税の寄付額の実績表が資料として有効なのか、返礼品の一覧が良いのか、また両方載せることも考えられる。どれだけ寄附があったかは記載してもよいと思う。
(委 員)		例えば、QRコードを載せて、記事には載せれないがどうしても見てもらいたいことはデジタルで共有する方法もあるのではないか。伝えたいことが多くなつた時はデジタルでの対応も必要と思う。
(事務局)		印刷物に2次元コードを入れる事例も増えてきてはいる。例えば動画や繊細な資料などである。
(委 員)		まずは名簿とかを検討したらよいと思う。
(事務局)		予算のこともあるので、ご提案のQRコードについては重要なものについて検討することとしたい。
(委 員)		QRコードは新しい方法で良いと思う。
(委 員)		本当にいる資料、また、市民からすれば不要と思われる資料など色々意見はあると思うので、資料等を選別して結果的に選別から落選した物は市ホームページに掲載してもよいと思う。また、項目によって必要な資料があると思うので、委員で意見を出し合い、次の編さん委員会で検討してはどうか。
(委 員)		どこかで線引きして、どうしても必要なものに絞れば良いと思う。
(事務局)		民間の個人名については、市民など受賞者名を載せる場合もあるし、公人のみとする場合があるので、玉野市として基準を決めてもらいたい。
(委 員)		総合計画に関して、計画達成に向けて色々な事業を行ってきたと思うが、玉野市では人口減少が続いている。どうしたら良くしていけるかを市史に記載すべきではないかと思う。
(委 員)		市史にそうした内容を入れるのは、編さん委員の責任は重くなるので難しいと思う。
(事務局)		総合計画については、新しい計画の中で前計画の数値目標などを総括していれば、その内容を市史に掲載することはできる。それが無い場合、市史に総合計画の総括をするのは行き過ぎと考える。
		また、委員が言われることは必要なことであるが、総合計画の総括を我々教育委員会である事務局が行うことではないと思う。必要であれば別の部署が場を設置するものと考える。当時の市長の談話を載せる方法もある。
(委 員)		個人の名前に関して、高山ドームは個人の寄附者の名前がついていると思う。また、グロスター市と姉妹都市になったの

	<p>は個人がきっかけと聞いているので、そのような場合は個人名を載せても良いのではないか。</p> <p>(事務局) 公人に準ずるような場合は個人名を載せることとしたい。</p> <p>(委 員) 東児町の概要について、「近年は県内屈指の海苔の産地となっていた」とあるが、昭和 38 年には約 100 軒あった海苔業者が今は 20 軒に減ったが現在も産地であると市ホームページにあったので修正が必要ではないか。</p> <p>また、既刊市史からの引用した箇所で差別用語と受け止められそうな言葉は別の言葉にした方がよいと思う。</p> <p>(事務局) 修正点等があれば、事務局（社会教育課）に連絡をいただき、とりまとめをする。</p>
	<p>3 その他</p> <p>(事務局) 次回編さん委員会は 11 月を予定しているが、原稿が出来あがれば、編さん委員会は開かず委員の皆さんに原稿をお送りして意見をいただく方がタイムリーで労力も少なくなると思うので、柔軟に事務局で判断させていただく。</p>
	<p>4 閉会</p>
特 記 事 項	無
事 務 局	<p>玉野市教育委員会社会教育課 電話 0863-32-5577 FAX 0863-32-1329</p>